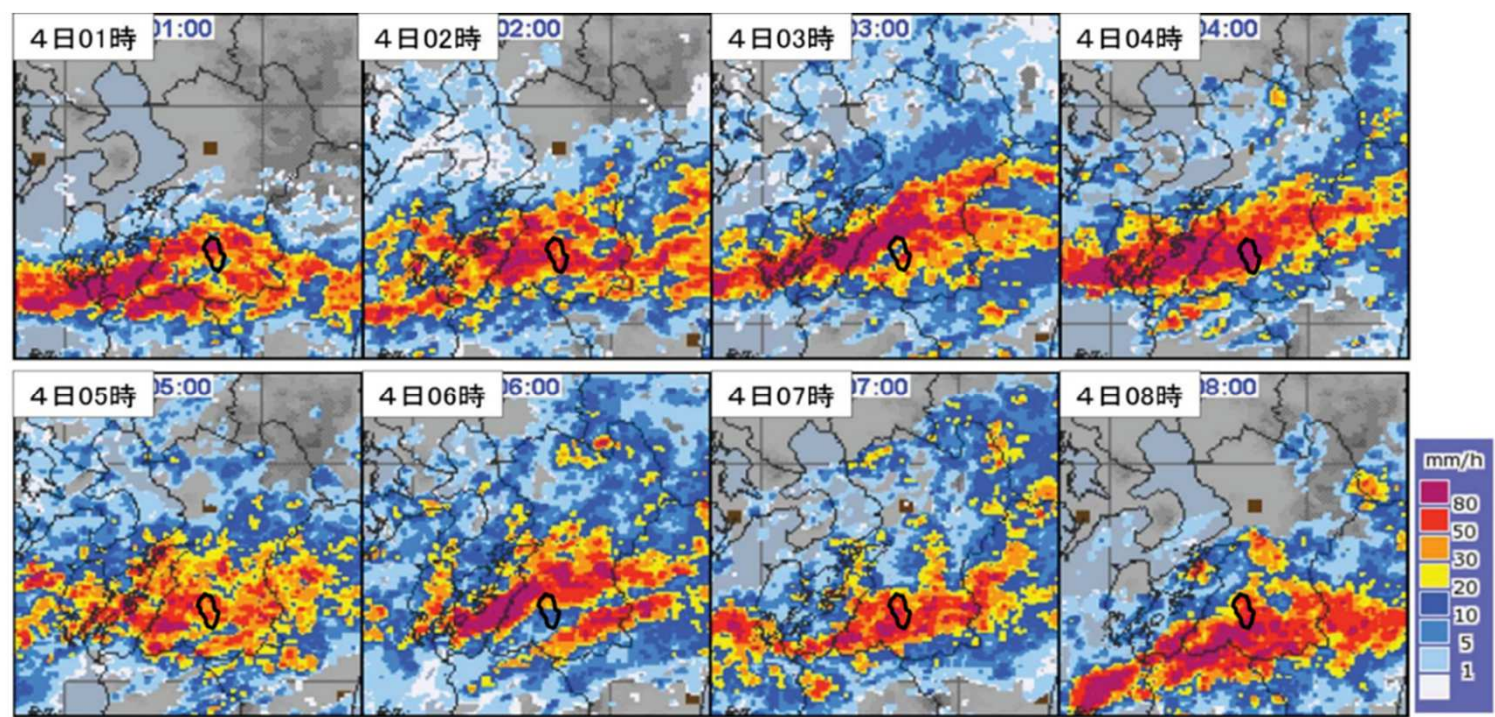


1. 気象の概要

令和2年7月3日から8日にかけて、停滞した梅雨前線の活動が活発となり、西日本から東日本の広い範囲で大雨となりました。3日夜には梅雨前線や低気圧に向かって暖かく湿った空気が流れ込み、大気の状態が不安定となり、4日未明から朝にかけて、1時間に50^{mm}以上の非常に激しい雨が降りました。

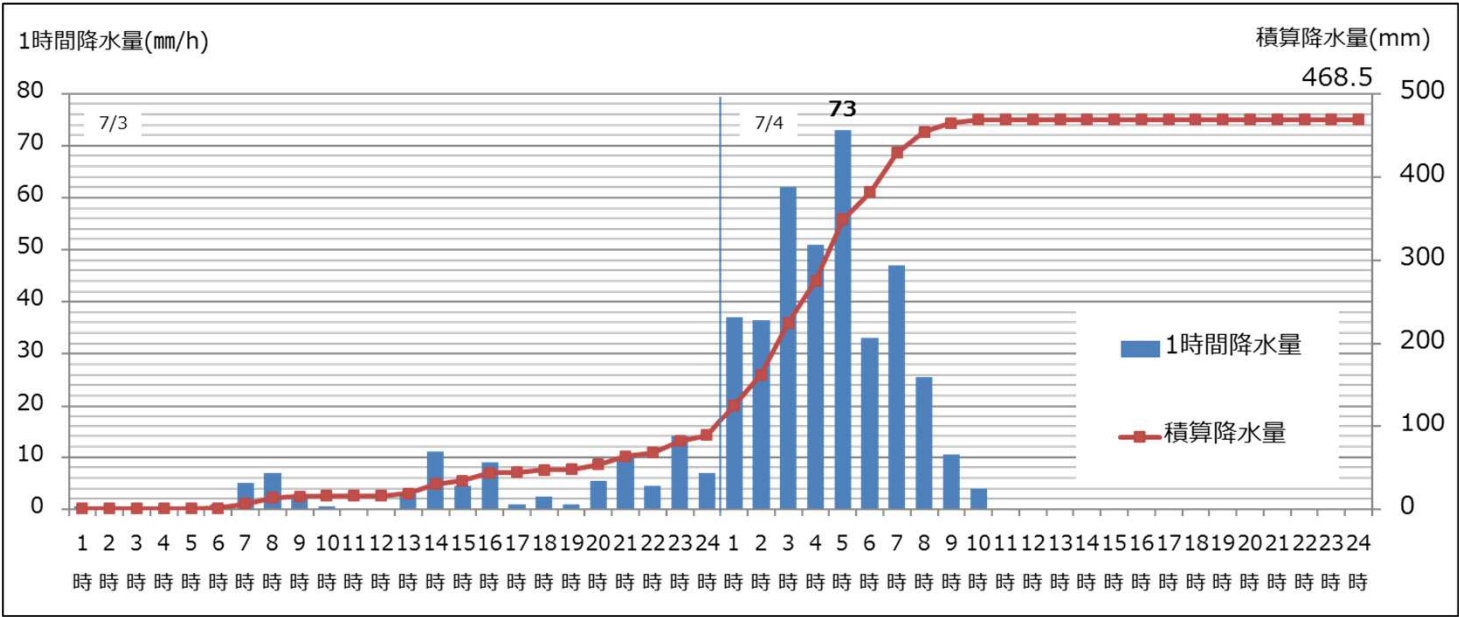
球磨川流域では線状降水帯が長時間にわたり停滞し、多いところでは48時間の総降水量が500^{mm}を超え、本村においても7月3日から4日までの24時間の総降水量が453^{mm}、48時間の総降水量が468.5^{mm}の記録的な大雨となりました。



※「熊本地方気象台 災害時気象資料」より抜粋及び一部加筆

アメダス降水量の時系列図（7月3日～4日）

※観測所：山江村大字万江屋形



地点名	積算降水量 (mm)	日降水量 (mm)	1時間降水量 (mm)	3時間降水量 (mm)	6時間降水量 (mm)	12時間降水量 (mm)	24時間降水量 (mm)	48時間降水量 (mm)
山江（山江村）	468.5	379.5	76.5	186.0	313.5	406.5	453.0	468.5
一勝地（球磨村）	476.0	357.0	83.5	158.5	267.5	396.5	455.5	476.0
人吉（人吉市）	420.0	299.0	69.5	125.0	184.0	340.5	410.5	420.0

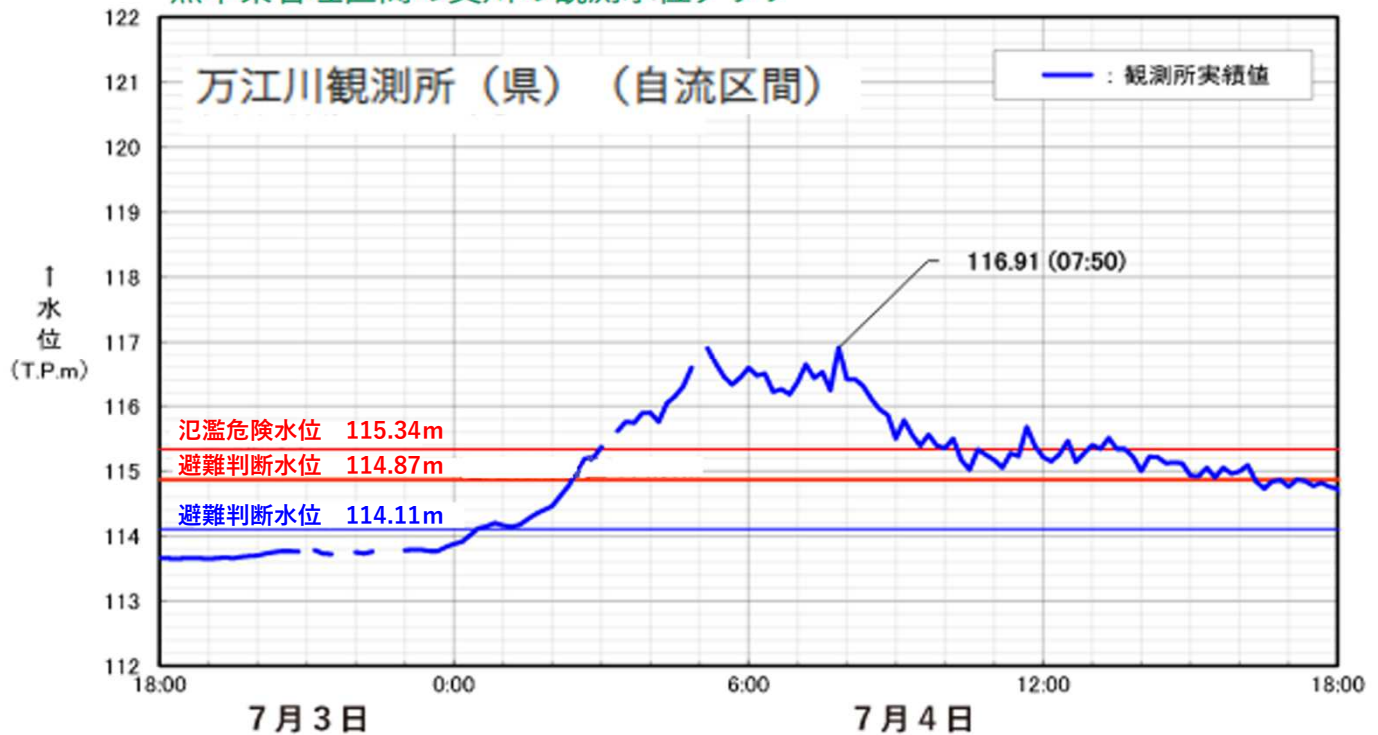
※「熊本地方気象台 災害時気象資料」より抜粋

2. 出水の概要

本村を流れる2級河川万江川において、7月4日2時30分に避難判断水位に到達、同日3時00分には氾濫危険水位に到達しました。その後も水位は上昇し、上流部から下流部までのいたる所で氾濫を起こしました。

また、その他周辺の河川においても、洪水の危険性が高まる状況となり、護岸決壊や河川内へ大量の土砂が流入し堆積しました。

熊本県管理区間の支川の観測水位グラフ



洪水警報の危険度分布図（気象庁）
7月4日 5:00時点

